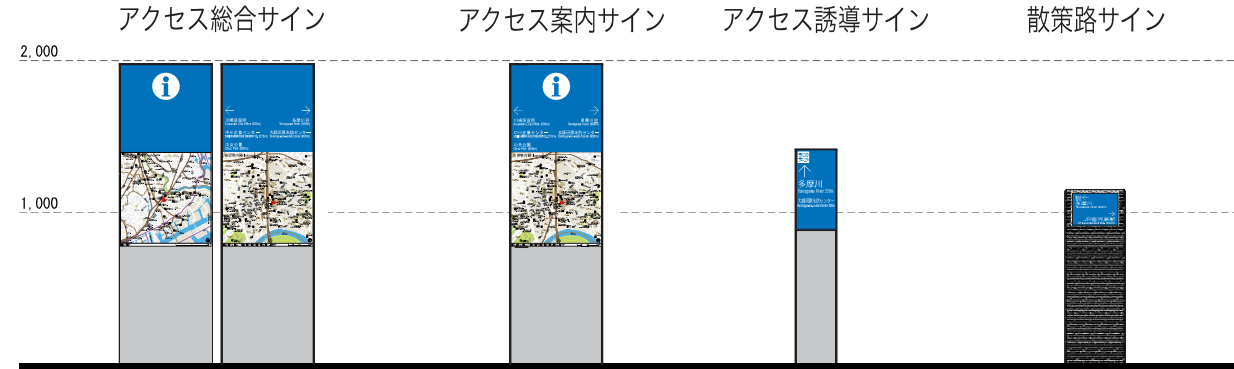


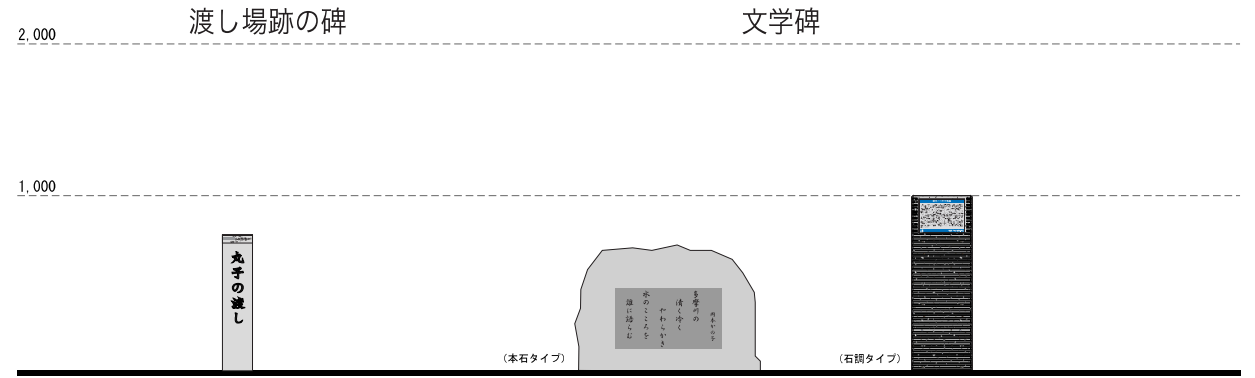
サインの種類

サインの種類は、多摩川の最寄りの駅から多摩川までの案内誘導を目的としたアクセスルートにおけるサインと多摩川河川敷内でのサインに分けられます。

◆アクセスルートにおけるサインの種類



◆河川敷におけるサインの種類



表示の標準化

誰にでもわかりやすいサインを目指し、書体や色彩などの表示の標準化を図っています。またユニバーサルデザインの観点を踏まえ、ピクトグラム（絵文字）の活用や英文を併記し、国際化への対応を行なっています。

表示の標準化例

◆書体

ゴシック体

あいうえお 阿伊宇江於

明朝体

あいうえお 阿伊宇江於

ヘルベチカレギュラー

ABCDEFGH abcdefg 1234567890

◆ピクトグラム（絵文字）



整備方針

「川崎市多摩川サイン計画」は、多摩川における統一的なサイン整備を推進するための計画です。成果をあげるために次の整備方針に基づき、9年間の整備期間をひとつの目安として整備を進めていきます。

◆整備方針

- 多摩川に関するサイン整備の対象箇所は、広域かつ多数なため、重要度の高い箇所から優先的に整備します。
- 多摩川緑地全体で統一感のあるサイン整備を効率的かつ効果的に行うために、整備プログラムに基づき、戦略的に整備を推進します。
- 今までに順次設置されてきた多摩川関連のサインが数多く存在するため、既存のサインを最大限活用します。